



2019 第28回 日本海藻協会シンポジウム

温暖化時代に国産海藻資源を確保できるか!?

日時：2019年10月11日(金)13:30-16:45

会場：東京海洋大学楽水会館1F大講義室(東京都港区港南4-5-7)

参加費：無料(講演要旨集は会員のみ無料, 会員外は1,000円)

主催：日本海藻協会

12:15-13:15 総会(会員のみ:楽水会館2F小会議室)

13:15 シンポジウム開場

司会 日本海藻協会理事長

鈴木 実

13:30-14:00 開会のあいさつ 続いて

日本沿岸の温暖化と海藻養殖

日本海藻協会会長

藤田大介

14:00-14:30

沖縄モズクの生産状況の推移と現況

カネリョウ海藻

鈴木祐介

14:30-15:00

早摘モズク生産への取り組みと温暖化への懸念

沖縄県伊是名漁協

伊禮政美

15:00-15:10

休憩

15:10-15:50

養殖ノリの品種改良の現状と温暖化に向けた今後の課題

東京海洋大学大学院

二羽 恭介

15:50-16:30

ワカメ養殖における温暖化適応技術と生長特性評価

国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校

村瀬 昇

16:30-16:50

会員交流の時間

閉会のあいさつ

17:00~

懇親会(4,000円/人, 学生2,000円/人)

<企画趣旨>

日本近海は地球温暖化のホットスポットの一つとなっており、沿岸の水温上昇が顕著で、海藻資源に与える影響も深刻になっています。実際に、各地で天然藻場の衰退が続いているだけでなく、食卓に上る海藻の確保も危ぶまれています。海藻は、日本食の中でも極めて重要な位置を占め、世界が注目する健康食材です。海外からの輸入を増やすだけでいいのか？今回は、温暖化が進行する中で、国産の海藻資源の確保に向けてどのような対策が可能なのか、生産の現場と研究の現場から探ってみたいと思います。

参加者は、所属、懇親会の参加の有無も書き添えて、10月4日(金)までにお申し込み下さい。
シンポジウムのみ参加者も、可能な限り、事前申し込みをお願いします。

申し込み先・問い合わせ先: 日本海藻協会事務局(鈴木 実)

E-mail: info@japan-seaweed-association.com